

平成29年度 事業計画書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人 手話教師センター

1 事業実施の方針

【育成】定例会を例年通り年に4回実施する。△日本手話ブラッシュアップ講座の充実化を図る。指導の様子をフィードバックすることで教師育成にあたる。△手話教授法講座(ナチュラルアプローチ講座)を2年ぶりに実施する。また、ナチュラルアプローチの理論等を総括的に復習する場としてステップアップ講座を開講する。
 【研修】研修会および大会は例年通り実施する。大会については今回初めて関西に場所を移し、国立民族学博物館と共催する。自主勉強会の活発化を呼びかける。また、手話コロキウムを実施し、研究手法について学ぶ機会を提供する。
 【派遣】エンパワーメントチームを中心に、若手が派遣される機会をさらに増やし、教師としての資質向上に努める。
 【開発】民間企業(ダブル・ピー株式会社)と連携し、教材開発を行なう。
 【翻訳・通訳】日本手話に特化した翻訳・通訳技術向上支援事業(日本財団)が次の段階に入り、ろう通訳者の資格化に備えて人材養成に力を入れる。翻訳講座(e-ラーニング講座等)、ろう通訳者養成講座、リーダー養成講座、通訳理論講座、通訳OJTプログラムを実施する。新規のものとして学術分野における弱点克服セミナーを実施する。
 【啓発】ホームページ、Facebook、ツイッター、LINE等で引き続き、啓発を行なう。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
手話教師育成事業	定例会の開催	年4回	国立オリンピック記念青少年総合センター	15名	手話教師 手話教師をめざすろう者及び コーダ 手話学習者・手話通訳者 約400名	80
	日本手話ブラッシュアップ講座等における教師育成	年5回	国立オリンピック記念青少年総合センター	10名	手話教師 手話教師をめざすろう者及び コーダ 手話学習者・手話通訳者 約30名	
	ナチュラルアプローチ手話教授法講座への教師派遣	年10回	株式会社ダブル・ピー手話寺子屋教室等	6名	手話教師をめざすろう者及び コーダ 約50名	
手話教師研修事業	集中研修会 (フォローアップ及びスキルアップのための勉強会)	年に2回 5月 12月	国立オリンピック記念青少年総合センター	20名	手話教師 約120名	1,462
	日本手話教育研究大会	年に1回 7月	国立オリンピック記念青少年総合センター	10名	手話教師 手話教師をめざすろう者及び コーダ 約200名	
	手話教師育成指導者研修会	年に1回 2月	静岡(熱海)	1名	手話教師指導者 15名	
	手話教師自主研修会	年に1回 2月	東京他	1名	手話教師指導者 8名	
手話教師派遣事業	手話教師の派遣	通年	事務所	2名	手話教師30名 学生・手話学習者/一般市民 約3,000名	1,488
手話教授法に関する教材開発事業	ナチュラルアプローチ法に適した手話指導書及び受講生用のテキストを作成し、出版する	通年	事務所	2名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコーダ 手話学習者・手話通訳者 約400名	164

翻訳・通訳に関する事業	翻訳講座(e-ラーニング講座含む)の開講	通年	三田(田町) 代々木・池袋	3名	手話学習者・手話通訳者等 約50名	8,470
	通訳理論講座の開講	通年	代々木・東京等	3名	ろう者(指導者等)・ろう通訳者 手話通訳者等 約15名	
	ろう通訳者・フィーター養成講座の開講	通年	代々木・東京等	3名	通訳をめざすろう者、フィーターをめざす手話通訳者 約12名	
	学術分野における弱点克服セミナーの開講	通年	代々木・東京等	3名	ろう通訳者・手話教師 ろう通訳者や 手話教師をめざすろう者、ろう学生 約300名	
	通訳OJTプログラムの実施	通年	東京他	3名	ろう通訳者・フィーター 約80名	
ろう者特有の文化に関する普及啓発事業	手話教師センターのホームページを設置、運用	通年	事務所	2名	手話教師 手話教師をめざすろう者及び コーダ 手話学習者・手話通訳者 約400名	70